

概観

【政治・社会】

・5日、10月5日に行われる国民議会総選挙へ向けた選挙活動が開始した。

【経 済】

・16日、コーポレート商業銀行（CCB）の主要株主であり、国際指名手配中のヴァシレフ氏がベオグラード警察に出頭した。また、同日、ブルガリア中央銀行（BNB）は、CCB及び子会社ヴィクトリア商業銀行の特別監視を2ヶ月延長し、それぞれ11月20日、同月22日までとすることを決定した。

・19日、国家エネルギー・水規制委員会（SEWRC）は、家庭用電力料金を10月1日から10%近く引き上げるべきとの提案を行った。（注：10月1日、本件値上げが最終決定された。）

【我が国との関係】

・日ブルガリア外交関係再開55周年にあたる12日、岸田外相とミトフ外相はメッセージの交換を行った。

・12日、日本大使公邸において、両国の外交関係再開55周年を記念して、今年度の外務大臣表彰伝達式、公館長表彰授与式が行われ、二国間関係の発展に貢献のあった計14の個人・団体が表彰された。

この月報はブルガリア各種メディアの報道等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

政治・社会

1. 内政

（1）総選挙に向けた動き

◆選挙活動の開始

▶5日、公式な選挙活動が開始した。GERBは7日、アリーナ・アルメエツにおいて集会を行い、選挙活動を開始した。1万5千名の支持者が出席し、洪水被害者への黙祷から集会が開始され、ポリソフ党首の演説やコンサートが行われた。

▶BSPは5日、国立文化宮殿（NDK）において選挙活動を開始した。資金はミズィヤ市での洪水被害者に寄付されたため、コンサートは行われなかった。

▶MRFのメスタン党首は、選挙活動の開始にあ

たり、党の有権者に対しビデオ・メッセージにより演説を行った。

▶「検閲のないブルガリア」は5日、スタラ・ザゴラ市において選挙活動を開始し、5千名以上が参加した。

▶ABR（ABV）は5日、ヴァルナ市の劇場でのコンサートとともに選挙活動を開始した。

▶5日、中央選挙管理委員会（CEC）は、総選挙に立候補する候補者総数は6,076名であると発表した。全25の政党と連合（18の政党と7の連合）の他、5名の無所属候補者が立候補した。

◆選挙人名簿の改善

▶8日、グネフ内務次官は、公正な選挙のための市民委員会の会合において、選挙人名簿の有権者数と有効な身分証明を所持する実際の有権者数との差はわずかとなっており、選挙人名簿に100万人の存在しない有権者が含まれているとの主張は正しくない、と述べた。

◆OSCE特別選挙監視団の始動

▶9日、欧州安全保障協力機構（OSCE）民主制度・人権事務所（ODIHR）は、ブルガリアの総選挙に向けた特別選挙監視団（LEOM）を公式に始動した。グローバー大使が率いる本監視団はソフィアベースの12名の専門家による中心チームから構成される。さらに、14名の長期監視団が14日から国内に配置される。期間中、監視団は政府関係者、政党関係者、市民社会代表、メディア等と面会する。グローバー大使は、監視団は新選挙法の適用、選挙管理機関の運営、機械・選好投票、選挙活動が行われる環境、選挙活動資金、メディア報道、不正及び票買収の報告等を含む様々な事項を注視する予定である、と述べた。

◆票買収は15～20万票との予測

▶15日、数学者で選挙の専門家であるミハイル・コンスタンティノフ氏は、選挙委員会の会合において、今度の総選挙では15～20万票が買収されるだろう、と述べた。同氏によると、対価は通常、投票前に支払われる。また、票買収は地方自治体のかなりハイレベルの人達の間で行われている。

◆試験的機械投票の実施

▶16日の報道によると、今回の総選挙ではキュスティンディル市、ドゥプニツァ市、ペルニツク市、プレヴェン市、ソフィア市などの300の投票所で機械投票が試験的に実施される。機械投票は2016年に全国的に導入される予定である。

◆欧州評議会議員会議（PACE）代表団の選挙前派遣

▶18日及び19日、ドリス・フィアラ団長が率いる欧州評議会議員会議（PACE）の4名の代表団が、総選挙前の選挙活動及び政治状況評価のため、ソフィアに派遣された。同代表団は、プレヴネリエフ大統領、ブリズナシュキ首相、政党及び連合の代表者等と面会した。

（2）政党の動き

◆メスタンMRF党首とエルドアン・トルコ大統領との面会

▶12日のトルコ報道によると、MRFのメスタン党首は、アンカラでトルコのエルドアン大統領と面会した。会談はカンカヤ大統領官邸で行われた。会談の内容についての公式な情報はなく、会談は密室の中で行われた。トルコのメディアによると、これは、エルドアン大統領とMRF党首の初めての会談である。エルドアン大統領は、最近まではMRFから離党し「自由と尊厳のための人民党」（PPFD）を結成したカシム・ダル及びコルマン・イスマイロフと主に連絡をとっていた。▶トルコ在住ブルガリア人組織のメンバーは、今回、エルドアン大統領とメスタン党首は10月5日のブルガリアの国民議会総選挙について議論したのだろうと推測している。今回の会談について、イスタンブール在住のブルガリア人活動家は、トルコ政府とMRFの関係は雪解けとなった、と述べた。

◆改革派ブロックの党首選挙が延期

▶14日、改革派ブロックの党大会において予定されていた同党の単一党首の選挙が延期された。なお、同日の党大会が選挙活動の公式開始となった。UDFのルカルスキ党首は、党首選出の規則に関して合意に達しなかった、と述べた。次期党大会は11月10日に予定されている。

◆「検閲のないブルガリア」

▶15日、「検閲のないブルガリア」のバレコフ党首は、総選挙のためにトルコからバスでやってくる投票者を阻止するために、10月1日から6日

までの間、カピタン・アンドレエヴォのトルコ国境を封鎖する予定である、と述べた。

(3) その他

◆NATOビジョン2020に関する論争

▶1日、政府安全保障評議会は、「ビジョン2020：欧州の国防におけるブルガリアとNATO」を承認した。先週、ロシアはブルガリアにとって脅威の一つであるとする本文書の記述が国防省のウェブサイトに掲載されたことから、論争が巻き起こっていた。プレヴネリエフ大統領が本文書をNATOの公式な立場に沿うものとして歓迎する一方、ブリズナシュキ首相は、本文書は危機を引き起こすもので、撤回して修正するべきであると述べた。ABRとアタツカは本文書を非難し、シャラマノフ国防相の辞任を求めた。その後、本文書はウェブサイトから削除された。同文書はロシアに関する記述を和らげるように修正され、安全保障評議会で承認された。

▶ビジョン2020は対外安全保障環境の最新評価を行い、国防における投資を判断し、NATOの議論に沿った国防費の増大方法について記述しており、NATOウェールズ会合でのブルガリアの立場を反映するものとなっている。

◆南東部での洪水被害

▶7日、新たな洪水被害が発生し、ブルガス市、スタラ・ザゴラ市を含む南東部が最も大きな被害を受けた。南海岸部で3名の被害者が出た。また、洪水によりブルガス市及びプリモルスコ市は甚大な損害を受け、200家屋が浸水した。ディミトロフグラッド市、ハスコヴォ市、ハルマンリ市近隣でも道路や鉄道の損壊などの被害が発生した。ブルガス市は8日を服喪の日とした。

▶洪水被害を受け、GERBの選挙候補者は被害地域でボランティア活動を行った。「検閲のないブルガリア」も同様の活動を行った。

◆ブルガリア軍の増兵

▶9日の報道によると、暫定内閣はブルガリア軍

の兵士を2,040名、軍情報部や軍警察といった国防省直属の組織と併せて2,460名を増員することを決定した。NATOはウクライナ危機を受け、黒海地域のプレゼンスを高める決定を行っている。増員の結果、ブルガリア軍は文民を含め26,100名から28,140名となる。そのうち25,360名は軍人である。ブルガリア軍及び国防省傘下の組織の合計人数は37,100名から39,560名に増加する。そのうち軍人は30,610名である。

◆ゲオルギエヴァ欧州委員が次期予算・人事担当欧州委員会副委員長に指名

▶10日、ユンカー次期欧州委員長は、次期欧州委員会の委員リストを発表した。ブルガリアのクリスタリナ・ゲオルギエヴァ欧州委員は次期予算・人事担当欧州委員会副委員長に指名された。ユンカー次期欧州委員長は、ゲオルギエヴァ氏について、同氏は国際協力・人道援助・危機対応担当委員として確実に仕事をし、めざましい国際ネットワークを作り上げた、と述べた。ゲオルギエヴァ氏は予算・人事担当副委員長として、職務分野において他の副委員長と緊密に協働し、全委員の業務を指導する。

▶同日、ブルガリアのミナ・アンドレエヴァ氏がユンカー次期欧州委員長の3名の報道官のうちの一人名となることが発表された。同氏は、ヴィヴィアン・レディング司法担当欧州委員の報道官を務めていた。

◆イラク・シリア情勢に関する動き

▶24日、シャラマノフ国防相は、ブルガリアはイスラム国の軍事集団に対抗する米国主導の連合に参加する予定はない、と述べた。同相は、ブルガリア空軍は必要な装備が不足しているのでそのような集中共同軍事行動に参加することはできない、我々が支援策として実施しようとしているのは、人道支援の供与及びEU及びNATO同盟国と共同での軽火器及び弾薬の提供である、と述べた。

▶30日、国防省は、イラク政府に1,800個の軽火器及び600万発の弾薬を提供した、と発表した。これらの武器は596万レヴァ（305万ユーロ）相当額であり、ブルガリア軍の余剰在庫から提供された。今回の武器の提供は、イラク政府がイスラム国軍事集団の脅威へ対抗することを支援する目的で行われた。

◆難民に関する動き

▶25日、シルパンリエフ国家難民庁長官は、ブルガリアに不法入国した4,550名が難民の地位を求めて待機している、と述べた。そのうち82%はシリア人である。子供を含む2,117名は収容施設に居住しており、2,673名が施設外に居住している。同長官は、難民の12名についてテロ組織との関連が疑われるため国家保安庁の監視下にある、と述べた。

▶29日、国家難民庁はブルガリアへの更なる難民流入が予測されると発表した。バルバノフ同副長官は、施設の収容定員は6,000名であるが、年末までに満杯となることが見込まれる、と述べた。1ヶ月間で1,000名の難民がブルガリアに入国している。同副長官は、以前は第三国に出国する難民が多かったが、現在はブルガリア国内に滞在する難民が多くなっている、と述べた。

2. 外政

◆プレヴネリエフ大統領：NATOウェールズ首脳会合出席

▶5日、プレヴネリエフ大統領は、NATOウェールズ首脳会合に出席し、ブルガリアは国防能力のための投資の約束を果たすと述べた。NATO首脳会合は今後10年間で徐々に国防費を増額し、各国がGDPの2%までにすることに合意した。同大統領は、ブルガリアの「ビジョン2020：欧州の国防におけるブルガリアとNATO」はNATO加盟国間や加盟国国内の防衛産業との協力のための枠組みとなる文書だと述べた。同文書につきシャラマノフ国防相が発表を行った。

▶同大統領は、東方加盟国領土に共同対処部隊の

司令部を設置する提案を支持した。また、ブルガリアは、ヴァルナにある黒海の領海内監視を行っている国内司令管制センターをNATOの遠隔管制センターに転用すること等を提案した。ブルガリアはウクライナ軍事情勢への対応のための基金に50万レヴァの協力を行う意図表明を行ったが、この資金は国内でウクライナ兵士の治療への協力のために使われる。大統領は、ブルガリア国内にはNATOが所有する基地はなく、ウクライナに派兵することはない、と述べた。

◆プレヴネリエフ大統領：アゼルバイジャン訪問

▶19日及び20日、プレヴネリエフ大統領は、南ガス回廊建設の着工式に出席するためアゼルバイジャンを訪問した。

▶19日、同大統領は、アゼルバイジャンのイルハム・アリエフ大統領と会談し、ガス供給源の多角化のためのパートナーとして協力を進めると述べたほか、共同声明に署名した。

▶20日、着工式に出席した同大統領は、ギリシャ・トルコ間のガス連結管建設プロジェクトは南ガス回廊の一部と考えるべきであり、それにより、ブルガリア及びルーマニア、セルビア等の近隣諸国への大量のガスの供給が可能になると述べた。式典にはアリエフ・アゼルバイジャン大統領のほか、アルバニア、英国、グルジア、伊、米、トルコ、モンテネグロの代表が出席した。

▶同日、ブルガリア経済エネルギー省は、ブルガリアとアゼルバイジャンのガス会社により、ブルガリアと南東欧諸国へのガス供給の保障と多角化のための2つの覚書の署名式が行われたと発表した。ブルガルトランスガス社とアゼルバイジャン国営石油会社（SOCAR）は、チレン・ガス貯蔵施設の開発プロジェクトに関する協力に関するMOUに署名した。また、SOCARとブルガリアガス社は、ブルガリア・ギリシャ間の連結管を用いて2017年にSOCARによりブルガリアにガス供給を開始する交渉を行う意図表明書簡に署名した。

◆プレヴネリエフ大統領及びミトフ外相：第69回国連総会出席

▶22日から26日にかけて、プレヴネリエフ大統領及びミトフ外相は、ニューヨークで開催された第69回国連総会に出席した。プレヴネリエフ大統領は、国連気候サミット2014で声明を発表し、国連総会で演説を行った。同大統領は演説において、ロシアによるクリミアの不法な併合及びウクライナ東部の衝突は、第二次世界大戦後、欧州の平和と安全保障にとって最も深刻な脅威の一つとなった、と述べた。また、同大統領は、テロ組織「イスラム国」による武装襲撃及び殺人を非難した。同大統領は、国連改革プロセス、特に、拡大安全保障理事会における東欧地域グループへの非常任理事国の枠の配分について賛成するというブルガリアの立場を表明した。

▶同大統領は滞在中、エジプトのエルシーシ大統領、米国のユダヤ人組織代表、コロンビアのサントス大統領、レイク・ユニセフ事務局長と会談した。

▶また、ミトフ外相は、シリア及び近隣諸国における人道的状況に関する会合に出席し、ウクライナ、マレーシア、トルコ、マケドニア、イラクの外相と会談した。

▶29日及び30日、ミトフ外相はワシントン

を訪問し、研究所やシンクタンクの関係者等と会談した。

◆プレヴネリエフ大統領：アライオロスグループ首脳非公式会合出席

▶28日から30日にかけて、プレヴネリエフ大統領はポルトガルを訪問し、第10回アライオロスグループ首脳非公式会合に出席した。同会合にはポルトガル、オーストリア、ドイツ、ラトビア、ポーランド、ハンガリー、フィンランド、エストニアの首脳が出席した。会合の議題はエネルギー、移民、成長と競争力を高めるための研究開発の役割、雇用創出等であった。同大統領によると、現在のブルガリアにとって内部連結管の建設が最重要である。ブルガリアはトルコ及びギリシャとの内部連結管を通じて南ガス回廊の一部であるアドリア海横断パイプライン（TAP）に連結する予定であり、これによりアゼルバイジャンからの10億立米の天然ガス供給が可能となる。

▶また、同大統領は30日の会合において、難民流入から生じる負担の公平な配分、欧州対外国境管理協力機関（フロンテックス）等の欧州機関の機能の向上を求めた。

経 済

1. マクロ経済

◆政府債務残高が対GDP比20%超に上昇

▶2日の報道によると、7月末時点のブルガリアの政府債務残高は合計184億3300万レヴァで対GDP比22.8%となり、過去7年で最高の水準に達した。過去2ヶ月間の中で、政府債務は35億1700万レヴァ増加した。これは、主に6月に国内外の市場で2回の政府債発行が行われたことによる。コーポレート商業銀行（CCB）とファースト・インベストメント・バンク（FIB）の問題も政府債務を増大させた。政府は6月

に5ヶ月政府債12億レヴァを発行しており、資金はFIBに預金されたと言われている。さらに、昨年政治的危機が国家のファイナンスコストを引き上げた。ブルガリアの政府債務はEUの上限（対GDP比60%）よりはるかに低い。しかし、増大する政府債務は、何年もの構造的問題の累積の結果であり、これらの問題が解決されなければ政府債務は増大し続け、予算及び納税者に更なる負担をもたらすことになることが予測される。

◆今年8月の失業率は10.4%

▶8日、雇用庁は、今年の失業者数は現時点まで

で58,730名減少した,と述べた。今年8月の失業率は10.4%となり,前月比0.2%ポイントの減少,前年同月比0.3%ポイントの減少となった。今年8月の失業登録者数は342,503名であり,前月比4,746名の減少,前年同月比8,935名の減少となった。

▶30日,アンゲロフ雇用庁長官は,ユーロスタットのデータを引用し,今年の25歳以下の失業率は現時点までで4%ポイント減少し,21.2%となった,と発表した。同長官によると,ブルガリアの若年失業率はEU平均を下回っている。

◆2013年の輸出は前年比7.2%増

▶12日発表の国家統計局の最終データによると,2013年のブルガリアの輸出は総額436億レヴァとなり,前年比7.2%の増加となった。多くの部門で輸出が増加したが,「動物性又は植物性の油脂等」(30.2%増)部門が最も増加した。▶同年の輸入額は総額505億レヴァとなり,前年比1.4%の増加となった。最も輸入の増加した部門は「飲料・タバコ」(10.8%増),「雑品」(9.9%増)である。一方,「動物性又は植物性の油脂等」(13.4%減)部門は最も減少した。▶2013年における貿易収支は70億レヴァの赤字となり,前年比で22億レヴァ減少した。

◆2013年の対EU貿易

▶12日発表の国家統計局の最終データによると,2013年の対EU輸出は261億レヴァとなり前年比9.1%の増加となった。主な輸出先はドイツ,イタリア,ルーマニア,ギリシャ,フランス,ベルギー及びスペインであり,これらの国で対EU輸出の75.3%を占める。▶同年の対EU輸入は,302億レヴァとなり前年比3.1%の増加となった。主な輸入先はドイツ,イタリア,ルーマニア,ギリシャ,スペインである。▶2013年の対EU貿易収支は41億レヴァの赤字となった。

◆2013年の対非EU貿易

▶12日発表の国家統計局の最終データによると,2013年の対非EU輸出は174億レヴァとなり前年比4.5%の増加となった。主な輸出先はトルコ,中国,ロシア,ウクライナ,ジブラルタル,セルビア,マケドニアであり,これらの国で対非EU輸出の53.7%を占める。

▶同年の対非EU輸入は204億レヴァとなり,前年比0.9%の減少となった。主な輸入先はロシア,トルコ,中国,ウクライナである。

▶2013年の対非EU貿易収支は29億レヴァの赤字である。

◆8月のインフレ率は前月比マイナス0.2%

▶15日の国家統計局の発表によると,8月のインフレ率は前月比マイナス0.2%となった。年初比ではマイナス1.2%,前年同月比ではマイナス0.6%となった。また,年間平均インフレ率はマイナス1.7%となった。

2. 経済政策,産業

(1) 電力に関連する動き

◆国家エネルギー・水規制委員会による電力料金引き上げの提案

▶19日,国家エネルギー・水規制委員会(SEWRC)は,3つの送電会社の家庭用電力供給価格を10月1日から10%近く引き上げるべきとの提案を行った。提案された値上げ率は,ソフィア市を含むブルガリア西部に送電するCEZに対しては日中9.97%及び夜間9.84%,南中部及び南東部に送電するEVNに対しては日中9.7%及び夜間9.35%,北中部及び北東部に送電するエネルゴ・プロに対しては日中9.8%及び夜間9.51%である。家庭用電力料金の平均値上げ率は9.79%となる。

▶また,SEWRCは,再生可能エネルギーによる電力,長期電力購入契約による購入電力,工場の生産活動に伴う熱力による電力生産に対する対価を含む「公共義務」手数料の8.98%の値上

げも提案している。本提案により、自由市場における非家庭用の中・高圧電力価格についても日中は2.2%、夜間は1.6%引き上げられることになる。

▶この他に、国営電力公社（NEK）が最終消費者に電力を販売する価格を9.83%引き上げることが提案されている。この値上げにより、NEKの収入は2億レヴァ増加する見込みである。グリッド接続及び送電のための手数料は8.9%値上げされる予定であり、これにより送電会社は送電グリッドの通常機能を維持することが可能となる。

▶30日、SEWRCは、産業団体や市民の抗議を受け、10月1日からの電力料金引き上げの最終決定を翌日に延期することを決定した。

（注：10月1日、SEWRCは同日付で電力料金の約10%の値上げを最終決定した。）

（2）コーポレート商業銀行問題

◆コーポレート商業銀行の主要株主ヴァシレフ氏がベオグラード警察に出頭

▶16日のセルビアの報道によると、コーポレート商業銀行（CCB）の主要株主であり、国際指名手配中のツヴェタン・ヴァシレフ氏がベオグラード警察に出頭した。ヴァシレフ氏はCCBの職員に対する2.06億レヴァの横領教唆及び横領幫助の罪で起訴されている。ヴァシレフ氏の弁護士であるシメオノフ氏は、9月初旬、ヴァシレフ氏がベオグラードに滞在していること、また、同氏に対する逮捕状が取り消されればヴァシレフ氏はCCB問題に関する証言を行い、銀行の再生に向けて活動するためにブルガリアに帰国する用意がある旨述べていた。これに対し、ブルガリアの検察当局は、引き続きヴァシレフ氏の逮捕と引渡しを求めるとしていた。

▶17日、セルビア当局は、ヴァシレフ氏が16日の午前9時に司法当局により拘留されたことを確認した。ヴァシレフ氏はセルビア当局にパスポートを没収され、毎日午前9時から午後3時までの間、セルビア当局に出頭することを要請されて

いる。CCBの捜査にあたっているゲシェフ検察官は、記者団に対し、ヴァシレフ氏のブルガリアへの引き渡しには18日から40日かかるだろう、と述べた。

▶18日、ソフィア市上級裁判所は、ヴァシレフ氏に対する逮捕状への異議を退けたソフィア市裁判所の決定を支持した。弁護士シメオノフ氏は、ヴァシレフ氏はセルビアとブルガリアの国境を通過した時点で拘留されるだろう、と述べ、検察当局は同氏のCCBからの横領を証明する証拠を有していない、と強調した。他方、ブリズナシュキ首相は、改めてヴァシレフ氏にブルガリアに戻るよう呼びかけた。ヴァシレフ氏は、弁護士と共にベオグラード警察に現れ、引き渡し手続きが完了するまではブルガリアに戻るつもりはない、と述べた。また、同氏は、誰からも裏切られたと感じている、自分はコントロールできない政治的圧力を受けてきた、と述べ、圧力を与えた人物としてオレシャルスキ前首相やイスクロフ・ブルガリア中央銀行総裁を挙げたが、他方において、彼らは操り人形に過ぎない、と述べた。

◆コーポレート商業銀行の特別監視を11月まで延期

▶16日、ブルガリア中央銀行（BNB）は、コーポレート商業銀行（CCB）及びその子会社ヴィクトリア商業銀行の特別監視を2ヶ月延長し、それぞれ11月20日、同月22日までとすることを決定した。当初、同行は9月21日に営業再開の予定とされていた。BNBによると、10月28日から11月20日までの間、CCBの再建に関心を持つ株主及び投資家はCCB救済のための資本・流動性の提供を提案することができる。

▶29日、ポロジャノフ財務相は、CCBの監査は10月初旬に完了する予定である、と述べた。

◆欧州委員会による違反手続の開始

▶25日、欧州委員会は、預金保険スキーム等に関するEU規則を正しく適用していないとして、ブルガリアに対する違反手続を開始した。欧州

委員会は、預金者が速やかに自分の預金へアクセスできることを期待している。現在、ブルガリアの預金保険スキームは、コーポレート商業銀行(CCB)及びその子会社のヴィクトリア商業銀行の預金者からの払い戻し要求にできていない。16日のブルガリア国立銀行(BNB)の決定により、本件に関する決定は11月まで行われない見通しとなった。欧州委員会は、正式な違反手続きの開始として、ブルガリアに対して公式通知書簡を送付した。ブルガリアの回答期限は10月15日である。

(3) エネルギー関連

◆国家エネルギー・水規制委員会委員長の決定

▶3日、政府は国家エネルギー・水規制委員会(SEWRC)の新委員長として、スヴェトラ・トドロヴァ氏を任命した。前委員長のボエフ氏は先月辞任した。トドロヴァ新委員長はエネルギー分野における35年の経験を有しており、2001～2006年にSEWRCの委員を務めた他、現在はウクライナの電力市場の規則に関するEUプロジェクトのコンサルタントを務めている。

◆コズロドゥイ原発所長の更迭

▶19日のブルガリア・エネルギー公社(BEH)は、コズロドゥイ原子力発電所のイヴァン・ゲノフ所長を更迭したことを発表した。新所長として、2008～2009年に同職を務めたディミタル・アンゲロフ氏が任命された。また、BEHは、取締役のアレクサンダー・ニコロフ氏の更迭も決定した。ゲノフ氏及びニコロフ氏は、米国ウェスティングハウス社と共同のコズロドゥイ原発新規原子炉建設計画に深く関与していた。

▶ゲノフ氏はコズロドゥイ原発の従業員で、オレシャルスキ前政権により同所長に任命された。また、同氏はBSP, MRF, NMSPによる三党連立政権の下で取締役を務めた。ニコロフ氏は、GERB政権時のトライコフ元経済相により取締役に任命されたが、後任のドブレフ元経済相により更迭された。その後、同氏は同原発の経営陣に再任命された。

(4) その他

◆日本企業の技術によるエラツィテ鉱山坑廃水処理施設完成

▶6日の報道によると、ソフィア市の建設会社ゲオストロイ社は、エトロポレ市にあるエラツィテ鉱山の坑廃水処理施設の建設を完了した。本施設は、坑廃水処理を含む最新の工業技術を有する日本企業、三菱マテリアルテクノ株式会社の技術に基づき建設された。

◆自国産野菜・果物は流通量の10%未満

▶17日、ブルガリア国立園芸同盟のトリフォノフ議長は、記者会見で、ブルガリアの市場で販売されている野菜及び果物のうち自国産は10%未満にすぎず、残りは皆輸入品である、と述べた。生産者は、新計画期間における補助金の公平な配分を要求している。同議長は、本分野の状況を危機的であるとし、もしブルガリアの野菜や果物により有力な市場となれば、失業者の多くを占める低熟練労働者の雇用を創出することになるだろう、と述べた。

我が国との関係

◆外交関係再開55周年記念 平成26年度外務大臣表彰及び公館長表彰

▶日・ブルガリア外交関係再開55周年にあたる12日、日本の岸田外相とブルガリアのミトフ外相は祝賀メッセージの交換を行った。

▶同日、日本大使公邸において、両国の外交関係再開55周年を記念して2014年度の外務大臣表彰伝達式、公館長表彰授与式が行われ、二国間関係の発展に貢献のあった計14の個人・団体が表彰された。外務大臣表彰は、日本

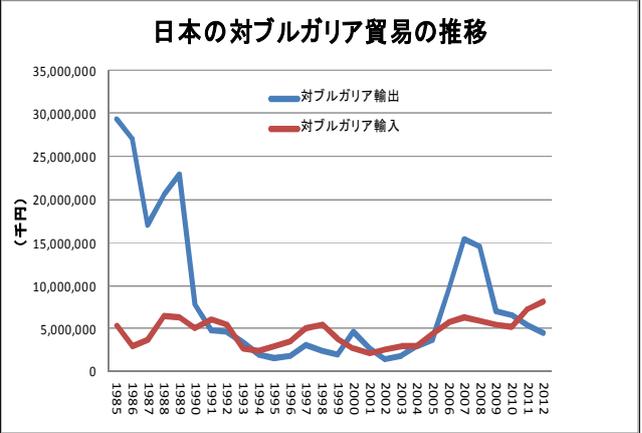
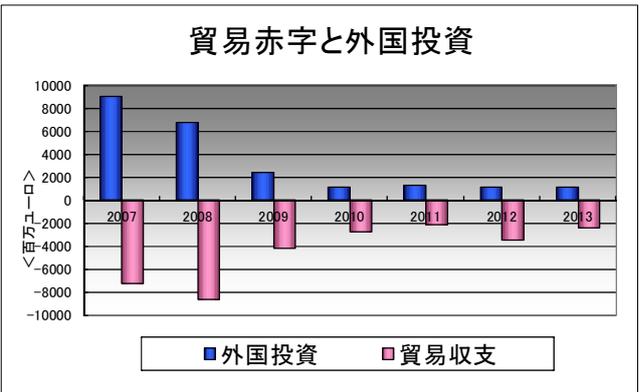
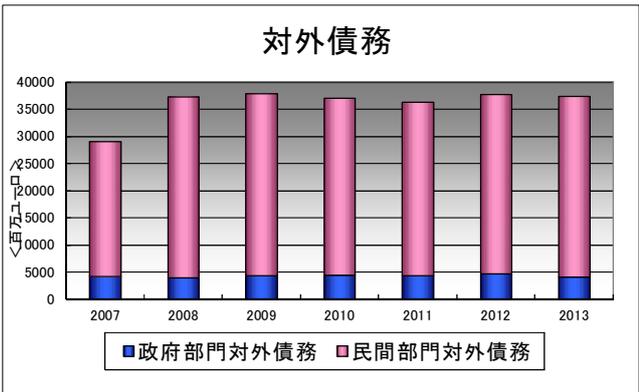
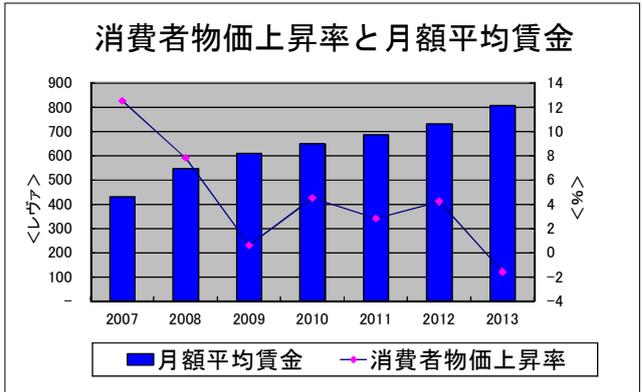
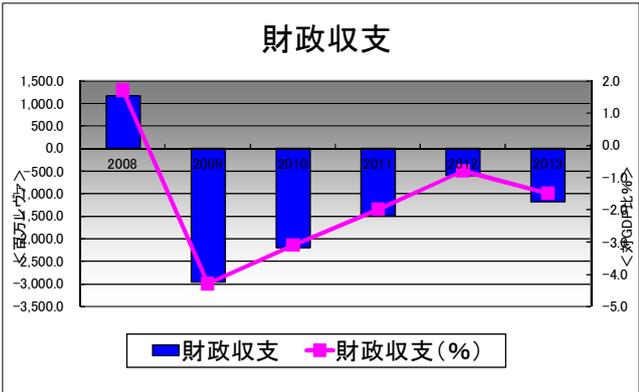
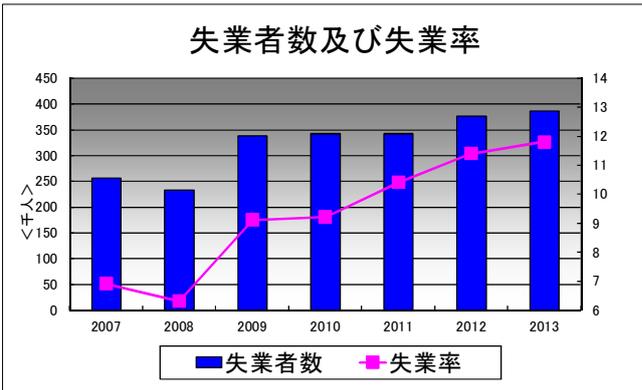
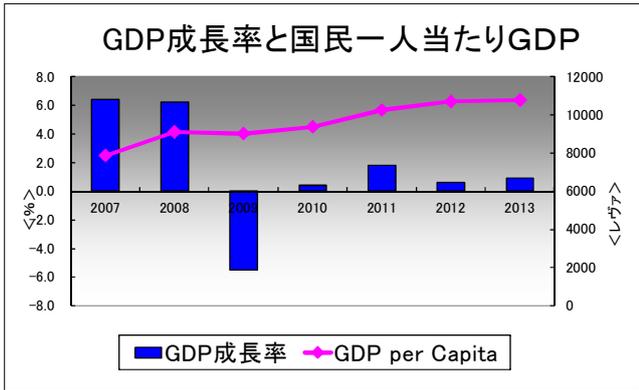
語教育に大きく貢献したソフィア大学古典・現代言語学部東アジア言語文化学科日本学専攻及びソフィア市第18総合学校、通訳家・翻訳家・美術評論家のドブリンカ・ドブリノヴァーダンチェヴァ氏の2団体1個人が受賞した。

ブルガリア内政・外交の動き（9月）

在ブルガリア大使館

1（月）	
2（火）	
3（水）	
4（木）	☆プレヴネリエフ大統領：NATOウェールズサミット出席（～5日）（於：英国）
5（金）	●10月5日の総選挙に向けた公式選挙活動の開始
6（土）	
7（日）	●南東部での洪水被害の発生
8（月）	
9（火）	
10（水）	☆ゲオルギエヴァ欧州委員が次期予算・人事担当欧州委員会副委員長に指名
11（木）	
12（金）	
13（土）	
14（日）	●改革派ブロックの党首選挙が延期
15（月）	
16（火）	●ブルガリア中央銀行（BNB）がコーポレート商業銀行（CCB）及び子会社のヴィクトリア商業銀行の特別監視を2ヶ月延長し、それぞれ11月20日、同22日までとすることを決定 ☆CCBの主要株主ヴァシレフ氏がベオグラード警察に出頭
17（水）	
18（木）	
19（金）	●国家エネルギー・水規制委員会による家庭用電力料金の約10%引き上げの提案 ●コズロドゥイ原発のゲノフ所長が更迭 ☆プレヴネリエフ大統領：アゼルバイジャン訪問（南ガス回廊建設着工式出席）（～20日）
20（土）	
21（日）	
22（月）	☆プレヴネリエフ大統領・ミトフ外相：第69回国連総会出席（～26日）
23（火）	
24（水）	
25（木）	☆欧州委員会によるブルガリアの預金保険スキームに関する違反手続の開始
26（金）	
27（土）	
28（日）	☆プレヴネリエフ大統領：第10回アライオロスグループ首脳非公式会合出席（～30日）（於：ポルトガル）
29（月）	☆ミトフ外相：米国訪問（～30日）（於：ワシントン）
30（火）	

ブルガリア経済指標の推移 (出典：国家統計局, 中央銀行)



ブルガリア主要経済指標 (出典: 中央銀行)

< GDP成長率と国民一人当たりGDP >

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	Q2
GDP成長率 (%)	6.2	-5.5	0.4	1.8	0.6	0.9	1.4	2.1
GDP per Capita (BGN)	9,090	9,007	9,359	10,248	10,689	10,752	-	-

< 財政収支 >

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1
財政収支 (million BGN)	1,156.7	-2,960.6	-2,197.9	-1,491.6	-604.4	-1,177.7	-19.6
財政収支GDP比 (% of GDP)	1.7	-4.3	-3.1	-2.0	-0.8	-1.5	0.0

< 失業者数及び失業率 >

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug
失業者数 (千人)	232	338	342	342	376	386	401	401	399	387	367	351	347	343
失業率 (%)	6.3	9.1	9.2	10.4	11.4	11.8	12.2	12.2	12.2	11.8	11.2	10.7	10.6	10.4

< 消費者物価上昇率と月額平均賃金 >

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug
消費者物価上昇率 (%)	7.8	0.6	4.5	2.8	4.2	-1.6	-0.2	-0.4	-0.2	0.3	-0.5	-0.4	0.4	0.4
月額平均賃金 (BGN)	545	609	648	686	731	808	794	780	813	834	816	802	-	-

< 対外債務 >

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July
政府部門対外債務 (million EURO)	3,935.9	4,208.3	4,326.9	4,205.0	4,578.9	4,062.4	4,100.7	4,093.5	4,086.6	4,053.9	3,995.6	4,020.9	5,356.7
民間部門対外債務 (million EURO)	33,310.6	33,608.2	32,699.4	32,089.8	33,201.2	33,276.5	32,892.2	32,713.2	32,780.0	32,899.5	32,955.3	33,022.6	32,862.8

< 対内直接投資と貿易収支 >

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July
対内直接投資 (million EURO)	6,727.8	2,436.9	1,151.2	1,330.2	1,141.7	1,156.7	90.0	221.2	446.7	544.9	689.7	751.3	825.3
貿易収支(FOB) (million EURO)	-8,597.7	-4,173.9	-2,763.7	-2,156.1	-3,460.3	-2,430.0	-354.2	-570.2	-869.6	-1,224.3	-1,459.4	-1,608.2	-1,684.4
輸出(FOB) (million EURO)	15,204.0	11,699.2	15,561.2	20,264.3	20,770.2	22,271.4	1,582.6	3,231.5	4,864.1	6,621.3	8,405.8	10,289.5	12,328.7
輸入(FOB) (million EURO)	23,801.7	15,873.1	18,324.8	22,420.4	24,230.4	24,701.4	1,936.8	3,801.7	5,733.7	7,845.6	9,865.2	11,897.7	14,013.1